



### 企画意図

フィンランド生まれのマリメッコは、ファッションやインテリアの枠を超え、新しいライフスタイルやコンセプトを提案するデザインハウスです。1951年の創業以来、デザイナーのアイデアや思想を重視した製品づくりを行ない、毎日の暮らしに彩り、喜び、前向きな心をもたらすことをミッションとするヴィジョンを世界に向けて発信し展開し続けてきました。これまで生まれた3,500種類以上の独自のプリントデザインは、人々のファッションや暮らしを彩り、また時には過去のデザインが再構築されることでタイムレスな魅力を放ちます。日本でも世代を超えて長く愛され続けてきました。

本展は、マリメッコの創業者であるアルミ・ラティアの言葉を手がかりに、様々な年代のドレスやアートワーク、ファブリックを通じて、マリメッコの創造の美学、また継承されるプリントメイキングの技に多角的な視点から光を当てることで、マリメッコの世界へ来場者を誘い、「模様がちから」を伝えます。

会場では、アートユニット・plaplaxによって、デザインが産声を上げるヘルシンキにあるマリメッコ自社の「プリントファクトリー」を映像とプロジェクションにより展示。手仕事のぬくもりと映像表現が融合する空間で、創造のプロセスを表現します。さらに、デザイナー・皆川 明によるインスタレーションも見どころのひとつです。マリメッコとの対話を通じ、国境を超えて共鳴し合うデザインをご覧ください。



創業者のアルミ・ラティア(1912-1979)

マリメッコ創業者のアルミ・ラティア（旧姓アイラクシネン）は1926年、わずか14歳の時に日記にこう記しました。

**責任はただ一つ — 美である。**

**現実はただ一つ — 夢である。**

**ただ一つのカ — 愛。**

この言葉は彼女の人生と多くの仕事の基盤となり、1951年に夫ヴィリヨ・ラティアと共に設立したマリメッコへと結実しました。

開催概要

・展覧会名：**マリメッコ展 模様のうちから**

**Marimekko: Art of Printmaking —Beauty, Dream, Love**

・第1会場：**京都文化博物館**

・会期：**2026年7月4日(土)～9月6日(日)**

・休館日：月曜休館(ただし、7月20日は開館、7月21日(火)休館)

・主催：京都府、京都文化博物館、産経新聞社、MBSテレビ、東映

・特別協力：**marimekko**

・後援：フィンランド大使館

・協力：S2、ヘルシンキ建築&デザイン・ミュージアム

・企画協力：東映

・公式サイト：<https://marimekko-ex2026-2028.jp/>

・公式X：marimekko\_2026

・公式Instagram：marimekko\_ex2026\_2028

・巡回：東京都庭園美術館(東京)：2026年10月3日(土)～12月20日(日)

ひろしま美術館(広島)：2027年1月30日(土)～3月28日(日)

北九州、富山、名古屋、長崎、ほか巡回予定

## 見どころ

### 1. マリメッコの美学：約70点のドレスやファブリックで辿るプリントの変遷

1960年代から近年のコレクションまで、厳選された約70点のドレスが一堂に会します。「ドレスをキャンバスに」という創業者アルミ・ラティアの思想を具現化した、シルエットとプリントの融合を紹介します。

### 2. Art of Printmaking：プリントメイキングから生まれる模様のちから

マリメッコを象徴するアイコン的な模様は、どのようにして生まれるのか。その創作の舞台裏を、貴重な資料とともにご紹介します。自然の風景から描かれたスケッチや切り絵、そして本展のキービジュアル飾った模様の一部の原図を展示。一枚の紙に描かれたドローイングが、人々の心を惹きつけるファブリックへと形を変えていく過程をご覧ください。

### 3. プリントが生まれる場を体感：plaplaxによる「プリント・ファクトリー」の表現

デザインが産声を上げるヘルシンキの「プリント・ファクトリー」をテーマに、アートユニット・plaplaxが新たな作品づくりに挑みます。職人の手仕事に宿る「ダイナミズム」と映像表現が融合する空間で、一つの模様がプリントとして生まれる瞬間を体感いただけます。

### 4. 未来への対話：皆川 明氏によるインスタレーション

デザイナー・皆川 明がマリメッコとの対話を重ね、独自の視点で「マリメッコ」を再解釈した新作インスタレーションを展示します。マリメッコが大切にしてきた「クリエイティブな共同体」という精神を体現するこの試みは、国境を超えた創造の対話であり、これからのデザインが持つ力を展望します。同時に、時代を超えて愛されるマリメッコ独自のアイデンティティを映し出しています。

展示構成について

マリメッコとは? Marimekko phenomenon

1951年、戦後フィンランド復興とともに、マリメッコ（「マリのドレス」の意）は生まれました。創業者のアルミ・ラティアは、夫の経営するオイルクロスのプリント工場で若い数名のアーティストをファブリックデザイナーとして起用し、革新的なデザインを生みだしました。同年5月には大胆なファブリックの使い方を提案する初のファッションショーを開催し成功をおさめます。50年代後半には国際的な展開を進め、60年に次期アメリカ大統領の妻ジャクリーン・ケネディが7点のドレスを購入したことで、世界的に知られることとなりました。マリメッコのアイコンックで明るく表情豊かなプリントデザインは、ファッションやグラフィック以外にもインテリアや建築などライフスタイルの全てに広がり、今日まで人々の暮らしを彩ってきました。本章では、貴重なアーカイブ資料や映像、ファブリックの歩み、伝説的なモデル「マリミニ」の物語を通じ、ラティアの価値観がいかにしてタイムレスかつ独創的なデザインへと昇華されたかを象徴的に展示します。



マリメッコ初のファッションショー



Fun in Finland (1964年)  
Photo: Tony Vaccaro / Tony Vaccaro Archives



「Oiva」シリーズ: サミ・ルオツァライネン  
図案: マイヤ・ロウエカリ 《ラシマッド》2009年  
© Marimekko Oyj Suomi-Finland  
Sami Ruotsalainen/Majja Louekari 2009



マリタロ(マリハウス)



《ウニッコ》マイヤ・イソラ 1964年  
© Marimekko Oyj Suomi-Finland  
Majja Isola 1964



《セイレーニ》マイヤ・イソラ 1964年  
© Marimekko Oyj Suomi-Finland  
Majja Isola 1964



《カイヴォ》マイヤ・イソラ 1964年  
© Marimekko Oyj Suomi-Finland  
Majja Isola 1964



《シイルトラブーアルハ》マイヤ・ロウエカリ  
2009年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland  
Majja Louekari 2009



《セツベル》アンッティ・ケッキ 2022年  
© Marimekko Oyj Suomi-Finland  
Antti Kekki 2022

〈本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先〉

「マリメッコ展」PR事務局 担当: 竹形尚子 (デイリープレス)  
tel. 03-6416-3201 / 090-1531-6268 naotakegata@dailypress.org

マリメッコの美学 — 時代を超越する色、形、パターン

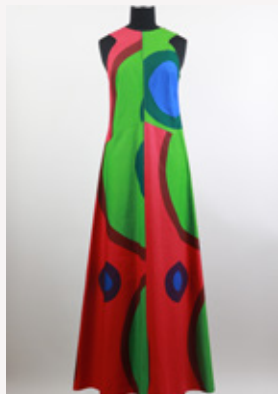
There is only one responsibility — Beauty

「日常生活に美しさを取り入れたい」というアルミ・ラティアの思いのとおり、マリメッコのプリントデザインは、大胆な色彩のコントラストと心躍るようなパターンが描かれ、暮らしに喜びと自由なインスピレーションを与えてきました。「完全なる不完全さ」とも言われるように、斬新なデザインの背景には、人の手によるぬくもりと、単なる装飾としてではないフィンランドの自然や機能主義、文化が根強く反映されています。

本章ではドレスをキャンバスに見立てることで、現在も息づくマリメッコの美学を、鮮やかで印象的な色や、パターン、走り回れるような機能美に富んだドレスのシルエットを通して紹介します。



図案：マイヤ・イソラ《ウニッコ》1964年/  
クリスティーナ・イソラ 2003年  
© Marimekko Oyj Suomi-Finland Maija Isola/  
Kristina Isola 1964/2003



図案・ドレス：アンニカ・リマラ《クラークヴァ》1967年/  
《ミュリュスキュリュフテュ》1968年  
© Marimekko Oyj Suomi-Finland  
Annika Rimala 1967/1968



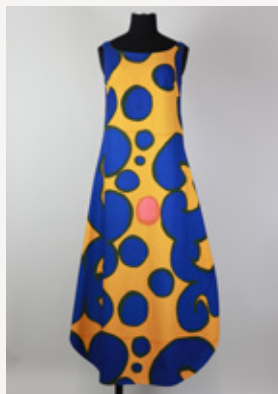
図案・ドレス：アンニカ・リマラ《ランケッティ》1963年/  
《ビルヴィ》1964年  
© Marimekko Oyj Suomi-Finland  
Annika Rimala 1963/1964



図案・ドレス：アンニカ・リマラ《イソ ライネ》1965年/  
《ナビメッコ》1967年  
© Marimekko Oyj Suomi-Finland  
Annika Rimala 1965/1967



図案・ドレス：アンニカ・リマラ《ライネ》1965年/  
《ティーラ》1966年  
© Marimekko Oyj Suomi-Finland  
Annika Rimala 1965/1966



図案・ドレス：アンニカ・リマラ《ケイダス》/  
《モンレボス》1967年  
© Marimekko Oyj Suomi-Finland  
Annika Rimala 1967



図案：アンティ・ケッキ《コルミッコ》2022年/  
ドレス：《カルケロ》2023年  
© Marimekko Oyj Suomi-Finland  
Antti Kekki 2022/2023



図案：脇阪克二《カタラ》/  
ドレス：リーサ・スヴァント《リエユ》1970年  
© Marimekko Oyj Suomi-Finland  
Katsuji Wakisaka / Liisa Suvanto 1970

〈本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先〉

「マリメッコ展」PR事務局 担当：竹形尚子(デイリープレス)

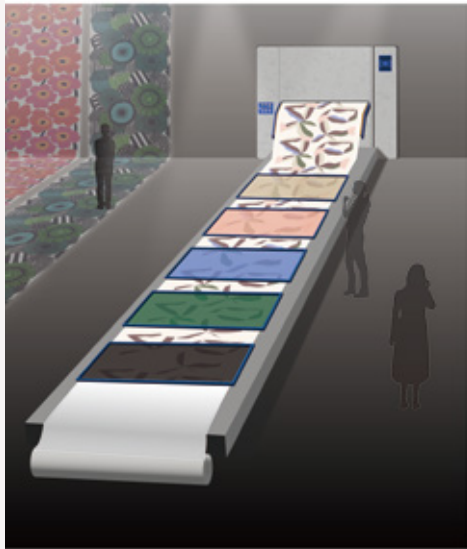
tel. 03-6416-3201 / 090-1531-6268 naotakegata@dailypress.org

## マリメッコの創造力 — デザイン制作からプリントメイキングまで

## There is only one reality — Dream

マリメッコは常に、夢を夢のまま留めず、プリントメイキングの技を通じて、独創的なアイデアを現実のものへと変えてきました。プリント・ファクトリーはマリメッコの心臓部であり、創業当時から現在もなお、アルミ・ラティアの意思を受け継ぎながら、デザイナーやアーティスト、プリント制作の職人らが協働し数多くの作品を生み出しています。

本章ではイメージを形作る場 — デザイナーやプリント・ファクトリーに着目し、映像、ファクトリーの道具、資料、デザイン画を通じてマリメッコの創造のプロセスを可視化します。また、アートユニット・plaplaxがプロジェクションによるダイナミックな展示空間を制作。マリメッコのひらめきが形になる世界を体感いただきます。



plaplaxによる展示空間イメージ  
※画像はイメージです。開催会場により内容は異なる可能性があります。



マリメッコ社のファクトリーにて、ファブリックがプリントされる様子  
Photo: Yuki Ogawa



アンティ・ケッキのアトリエ  
Photo: Takuya Nagata



マイヤ・ロウエカリのスケッチ  
Photo: Yuki Ogawa

## 〈本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先〉

「マリメッコ展」PR事務局 担当：竹形尚子（デイリープレス）

tel. 03-6416-3201 / 090-1531-6268 naotakegata@dailypress.org

皆川 明との新たなクリエイティブ・ダイアログ 国境・領域・時を超えて

## There is only one strength — Love

人と人との交流は、マリメッコにとってプリントメイキングの根幹を成すもので、「人々が集えば本物で意味あるものを創造できる」という信念のもと、今日までに多くのクリエイターたちと共同作業しながら新しい創造性を生み出してきました。

今回は、マリメッコとは異なる文化や視覚的要素を持ちながらも、その「ものづくりの精神」においてマリメッコとの繋がりを持つデザイナー・皆川 明を取り上げます。本展のために、皆川がデザインし、マリメッコのプリント・ファクトリーで制作されたファブリックを用いて、皆川とマリメッコとの創造的協働の象徴となるインスタレーションを公開します。



皆川 明氏(左)とマリメッコのデザイン・ディレクターMinna Kemell-Kutvonen氏(右)  
マリメッコ社のファクトリーにて  
Photo: Yuki Ogawa



マリメッコ社にてプリントのカラーを選定する様子  
Photo: Yuki Ogawa

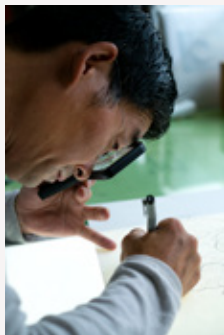


Photo: Yayoi Arimoto

### 皆川 明

#### 【プロフィール】

ファッション・テキスタイルブランド「mina perhonen」創設者、デザイナー  
1995年に「mina perhonen (ミナ ベルホネン)」の前身である「mina」を設立。ハンドドローイングを主とする手作業の図案によるテキスタイルデザインを中心に、衣服をはじめ、家具や器、空間ディレクションなど、日常に寄り添うデザイン活動を行っている。国内外のテキスタイルブランドへのデザイン提供、新聞・雑誌の挿画なども手掛ける。2006年毎日ファッション大賞、2015年毎日デザイン賞、第66回芸術選奨文部科学大臣新人賞、2025年毎日ファッション大賞選考委員特別賞受賞、フィンランド獅子勲章騎士一級章受章。

#### 【コメント】

Marimekkoは創業以来優れたデザイナーによって時代とその暮らしを照らすテキスタイルデザインを発表してきました。今日までそれらのデザインはフィンランドにとどまることなく世界中の人々の暮らしにおいて楽しさと心豊かになる感動を生み出しています。そしてどのデザインも時代的な流行に流されることなく時代を受け継ぐクリエイティブチームによって大切にアーカイブとして復刻やアレンジを加えながら現代的な価値を持っています。今回のインスタレーションでは、Marimekkoが積み上げてきた歴史から生まれるDNAや、それらが繋がっていく様子を表します。鑑賞者には楽しさと美しさ、そしてMarimekkoの未来への期待を感じていただけたらと思います。

〈本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先〉

「マリメッコ展」PR事務局 担当: 竹形尚子 (デイリープレス)  
tel. 03-6416-3201 / 090-1531-6268 naotakegata@dailypress.org

2026年4月9日

「マリメッコ展」PR事務局



### 展覧会キービジュアル

展覧会のキービジュアルは、3人のデザイナーによるファブリックパターンの模様で構成されています。マリメッコのプリントデザインにおいて特徴的なのは、有機的で手作りの温もりを感じさせる表現であり、マリメッコが不完全さの美しさと呼ぶ感覚です。わずかな揺らぎやムラをあえて残すことで、プリントに生命感が生まれます。また、フラットスクリーン印刷による色の重なりから生まれる「第三の色」も重要な要素。色彩が重なり合うことで、奥行きと豊かさを感じさせます。これらの要素を反映し、「マリメッコ」を表現したキービジュアルをデザイナー・田部井美奈が制作しました。

### 模様について

#### Klaava by Annika Rimala (アンニカ・リマラ)



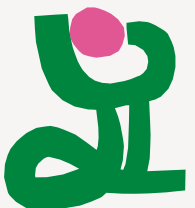
フィンランド語で「コインの裏」を意味する「Klaava」は1960年から1982年までマリメッコでデザイナーとして働いていたアンニカ・リマラが1967年に制作しました。ヤングカルチャーからの影響を最も強く受けていた時代に制作されたリズムカルな作品です。

#### Viidakko by Pentti Rinta (ペンッティ・リント)



フィンランド語で「ジャングル」を意味する「Viidakko」は1969年から1987年までマリメッコでデザイナーとして働いていたペンッティ・リントが1981年に制作しました。熱帯の巨大な空想の花々が描かれ、まるで冒険への誘いのように。彼は、小さく抑制されたプリントも、印象的で目を引く大胆なパターンも、同様に見事に制作しました。

#### Seppel by Antti Kekki (アンッティ・ケッキ)



フィンランド語で「花輪」を意味する「Seppel」はアンッティ・ケッキが2022年に制作しました。ウニッコ誕生60周年を記念し、マイヤ・イソラのアイコンックな「ウニッコ」に寄り添うデザインとして誕生しました。特に、花の茎が柔らかな弧を描いて重なり合い、木の輪に似ていることからインスピレーションを得ています。華やかなセッペル柄は、ケッキの得意とするスタイルを生かし、紙を切り抜き、曲線を組み合わせました。

〈本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先〉

「マリメッコ展」PR事務局 担当: 竹形尚子 (デイリープレス)

tel. 03-6416-3201 / 090-1531-6268 naotakegata@dailypress.org

2026年4月9日

「マリメッコ展」PR事務局



左から小原氏、近森氏  
Photo: Yuki Ogawa

## plaplax (プラブラックス) 近森 基 小原 藍

### 【プロフィール】

みる人と作品がお互いにやりとりをする作品づくりを軸に、展覧会の構成や、空間の演出、映像の企画制作など領域を横断しながら活動している。扱うテーマやモチーフのなかに潜んでいる物語を掘り下げ、創造的な学びや発見のある体験づくりに取り組む。

近年の仕事に、「デザインあ展 (2013、2018-2021、2025-)」、「いわさきちひろぼつご50ねん こどものみなさまへ (2024)」の年間展示ディレクター、「レオ・レオーニの絵本づくり展 (2025)」3章レオレオリウム!の展示構成、Eテレ「デザインあneo コーナーパラメーター (2021〜)」の企画制作など。

<https://plaplax.com/>

### 【コメント】

今回の制作にあたり、ヘルシンキのMarimekko本社のプリント工場を見学する機会をいただきました。外光溢れる工場では、マリメッコのシャツを纏った個性豊かな職人さんたちがそれぞれの仕事をされていて、中でも、シルクスクリーンプリントの工程は特に印象深いものでした。真っ白の生地の上に、色ごとの版がセットされ、職人がインクをピュッと版の上に投げ広げると、丸棒がコロコロとインクを押し広げ…。色鮮やかな形が次々に重なり、馴染みの柄になっていく様子は、本当にずっと見ていられる光景でした。展示ではこの工程を、大型のインスタレーションでご紹介します。模様には込められたデザイナーたちの思いや工夫、フィンランドの息遣いを会場で感じていただけたらと思います。



Photo: Masaki Ogawa

## 田部井美奈

### 【プロフィール】

アートディレクター・グラフィックデザイナー。2003年より服部一成氏のもとで活動し、'14年に独立、田部井美奈デザインを設立。広告、書籍、パッケージ、展示、空間構成などの領域において、色彩や幾何学を軸に、平面と立体を行き来するような視覚表現に取り組む。主な仕事に「武蔵野美術大学」のイメージビジュアル、「マティス展」、『奥能登半島/石川直樹』『ミライの源氏物語/山崎ナオコラ』の装丁、「(NO) RAISIN SANDWICH」、「Mame Kurogouchi」のパッケージデザイン、展示「光と図形と、その周辺」など。第28回亀倉雄策賞、'19年東京ADC賞など受賞。AGI (国際グラフィック連盟) 会員。

<https://minatabei.com/>

### 【コメント】

Marimekkoのプリントデザインは、色彩・形・構成によって、ファブリックのためのパターンにとどまらず、グラフィックとしての強い魅力を感じています。それが、どの時代においても新鮮なビジュアル表現として成立し続けている理由のひとつだと思います。本展のキービジュアルでは、異なる時代に3人のデザイナーが制作した図柄を、重なり合うように構成し、新たな色、形が生まれています。さらに文字要素が加わることで、すべての要素が対等な関係で混ざり合い、互いに呼応し合うような印象を目指しました。この感覚は、私自身のグラフィックデザインの実践とも深く重なっています。

### 〈本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先〉

「マリメッコ展」PR事務局 担当: 竹形尚子 (デイリープレス)

tel. 03-6416-3201 / 090-1531-6268 naotakegata@dailypress.org

### Marimekkoについて

マリメッコはフィンランドのデザインハウスであり、世界に先駆けて誕生したライフスタイルブランドのひとつ。1951年にアルミとヴィリヨ・ラティア夫妻によって設立され、喜びにあふれた人生とよりよく生きるための哲学を体現することをモットーとする。

高い美的感覚に基づくプリント作りの技で世界的に知られ、ヘルシンキにある自社のプリント・ファクトリーでは、アーティストやデザイナーたちが熟練した職人たちと協力し、オリジナリティを追求している。すべての製品を—ドレスであれ、食器であれ、テキスタイルであれ—アートを生み出すキャンバスと捉えている。マリメッコの基盤となるデザイン哲学は、価値と質の両面において、永きにわたり色褪せることのないタイムレスなデザインを創造することである。

〈本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先〉

「マリメッコ展」PR事務局 担当：竹形尚子（デイリープレス）

tel. 03-6416-3201 / 090-1531-6268 naotakegata@dailypress.org

<b>マリメッコ展 模様の中から</b> <b>Marimekko: Art of Printmaking –Beauty, Dream, Love</b> <b>【広報用画像データ申込書】</b>	マリメッコ展 PR事務局
	担当: 竹形尚子(デイリープレス)
	TEL: 090-1531-6268 / 03-6416-3201
	E-mail: naotakegata@dailypress.org

※展覧会名は、上記が正式名称となります。日英併記でご記載いただけますようお願いいたします。

広報用作品画像データをご希望の際は、下記リストのご希望の画像にチェックを入れて、必要事項をご記入の上、PR担当までe-mailでお申込みください。

- ・写真の使用は本展覧会を紹介する場合に限りさせていただきます。
- ・画像掲載時には必要なクレジット表記を記載してください。
- ・作品画像は全図でご使用ください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工はできません。WEBにてご掲載の場合には、コピーガード(※右クリック不可)を施しダウンロード不可にしてください。
- ・掲載前にPR担当宛に校正原稿をお送りください。
- ・掲載誌をPR担当宛にご送付ください。

貴社名		ご所属	
ご担当者名		TEL	
ご住所		E-mail	
貴媒体名		画像掲載媒体	<input type="checkbox"/> 雑誌・新聞等 <input type="checkbox"/> ホームページ・SNS
掲載号/発売予定日	( 月号 / 月 日号 / 日発売)		

希望	画像No	ご掲載時に必要なクレジット表記
<input type="checkbox"/>	1	展覧会キービジュアル 右:Klaava, Annika Rimala, 1967/ 下:Viidakko, Pentti Rinta, 1981/ 左上:Seppel, Antti Kekki, 2022
<input type="checkbox"/>	2	《イソ ウニコ》マイヤ・イソラ 1964年/2023年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Majja Isola 1964/2023
<input type="checkbox"/>	3	アルミ・ラティア(1912-1979) Photo: Matti Saario / The Finnish Museum of Photography
<input type="checkbox"/>	4	ヘルシンキにあるマリメッコのプリント・ファクトリー(1965年) Photo: Tony Vaccaro /Tony Vaccaro Archives
<input type="checkbox"/>	5	創業者のアルミ・ラティア(1912-1979)
<input type="checkbox"/>	6	マリメッコ初のファッションショー
<input type="checkbox"/>	7	Fun in Finland (1964年) Photo: Tony Vaccaro /Tony Vaccaro Archives
<input type="checkbox"/>	8	「Oiva」シリーズ:サミ・ルオツァライネン 図案:マイヤ・ロウエカリ《ラシマット》2009年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Sami Ruotsalainen/Majja Louekari 2009
<input type="checkbox"/>	9	マリタロ(マリハウス)
<input type="checkbox"/>	10	《ウニコ》マイヤ・イソラ 1964年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Majja Isola 1964
<input type="checkbox"/>	11	《セイレーニ》マイヤ・イソラ 1964年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Majja Isola 1964
<input type="checkbox"/>	12	《カイヴォ》マイヤ・イソラ 1964年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Majja Isola 1964
<input type="checkbox"/>	13	《シイルトラブータルハ》マイヤ・ロウエカリ 2009年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Majja Louekari 2009
<input type="checkbox"/>	14	《セッペル》アンティ・ケッキ 2022年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Antti Kekki 2022
<input type="checkbox"/>	15	図案:マイヤ・イソラ《ウニコ》1964年/クリスティーナ・イソラ 2003年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Majja Isola/Kristina Isola 1964/2003
<input type="checkbox"/>	16	図案・ドレス:アンニカ・リマラ《クラークァ》1967年/《ミュリユスキュリユフテュ》1968年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Annika Rimala 1967/1968
<input type="checkbox"/>	17	図案・ドレス:アンニカ・リマラ《ランケッティ》1963年/《ビルヴィ》1964年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Annika Rimala 1963/1964
<input type="checkbox"/>	18	図案・ドレス:アンニカ・リマラ《イソ ライネ》1965年/《ナッピメッコ》1967年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Annika Rimala 1965/1967
<input type="checkbox"/>	19	図案・ドレス:アンニカ・リマラ《ライネ》1965年/《ティーラ》1966年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Annika Rimala 1965/1966
<input type="checkbox"/>	20	図案・ドレス:アンニカ・リマラ《ケイダス》/《モンレボス》1967年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Annika Rimala 1967



1



2



3



4



5



6



7



8



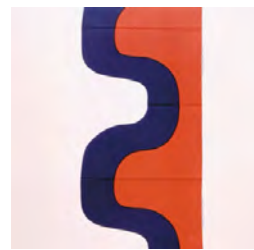
9



10



11



12



13



14



15



16



17



18



19



20



21



22



23



24



25



26



27



28



29



30



31

